

株式会社TAKARA & COMPANY

第83期 中間株主通信

2020年5月期 2019年6月1日から2019年11月30日まで



「ネット株通」は
こちらから



証券コード：7921

TAKARA & COグループ 企業理念

TAKARA & COグループは、持株会社体制への移行を機に新たな企業理念を策定しました。

私たちは、社会にとってなくてはならない企業であり続けるため、持続的成長を支える価値創造基盤の強化を通じて自社の企業価値を向上させ、お客様に提供する価値の最大化を図っていきます。

グループ企業理念

Corporate Philosophy (企業理念)

Fulfill our role as a public entity of society

社会の公器としての使命を果たす

Vision (目指す姿)

Continue to be a global company indispensable to society by improving the expertise of each group company and contributing to the expansion of corporate value for our customers

グループ各社の専門性を磨き、お客様の企業価値拡大に貢献し、
社会になくてはならないグローバル企業であり続ける

Credo (行動指針)

- | | |
|--------------------------|--|
| 1 Value | Create new value together with our customers
顧客とともに新たな価値を創造する |
| 2 Integrity | Emphasize ethics and morality
倫理と道義を重んじる |
| 3 Professionalism | Enhance professional skills and grow with our customers
専門能力を高め、顧客とともに成長する |
| 4 Diversity | Recognize and enhance each other
お互いを認め合い、高め合う |
| 5 Judgment | Make judgments based on whether they are appropriate as a public entity
社会の公器として正しいかどうかを判断基準とする |

ロゴマークの由来



傘下の企業を導くホールディングスカンパニーを“舵輪”、“羅針盤”、“盾”をモチーフにデザイン。

モチーフの中心からあらゆる方向に突き進む8つの矢印形のオブジェクトは、グループ企業が革新的なソリューションをお客様に提供し事業を拡大していくことや、互いに切磋琢磨しながら突き進み企業価値を高めていくことを意味しています。

中心には「T & C」の文字を重ね合わせ、盾の形に配しました。
盾のモチーフは、グループ会社が一丸となって各ステークホルダーの価値を守り高めていく当社グループのコア・バリューを象徴しています。

色については舵輪と羅針盤がモチーフであることから、海を連想させる青で配色。
海を越えて活躍するグローバル企業であることを意味しています。

(本ロゴマークは社内公募により、決定したものです。)



マネジメントメッセージ

事業領域の拡大により新たな成長機会を獲得し、 総合力を発揮する企業グループを目指します

代表取締役社長 堆 誠一郎

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループは2019年12月2日付で持株会社体制へと移行し、宝印刷株式会社は商号を「株式会社 TAKARA & COMPANY」に変更いたしました。

今後のグループとしての成長戦略についてご理解賜りたく、私よりご説明申し上げます。

新たなビジネスモデルの構築を目指して 持株会社体制への移行

私たちは1952年の創業以来、一貫してディスクロージャーおよびIRに関連する総合的な支援事業を展開し、上場企業をはじめ多くのお客さまから厚い信頼をいただき成長を遂げてきました。こうしたサービスを通じて築き上げてきた、優良な顧客基盤と強固な信頼関係は、当社グループの大きな資産です。この資産を活かして、周辺分野へサービスを拡げ、新たな成長機会を獲得することでお客さまの企業価値をさらに高めていく

ことが、持株会社化の目的です。

このタイミングで実施した理由は、次期中期経営計画の始動を機に新たなビジネスモデルの構築に向けたスタートを切るために、その準備期間として持株会社体制の確立を先行したいという考えによるものです。グループ各社の専門性に一層磨きをかけながら、総合力を発揮する企業グループとしての体制の確立を進めてまいります。

新たなビジネスモデルを構築するためには、企業風土にも変化が必要です。私たちは今後、グループ内の人事交流を活発化させることで、各事業会社に新たな価値創出の土壌を形成し、専門性の追求を促進するとともに、一人ひとりの社員により多くの成長機会を提供していきたいと考えています。

一方で、グループ全体で効果的なシナジーを発揮するためには、多様な人財が共通する価値観を持つことが必要です。そのため、持株会社体制へ移行したことを機に、経営理念をより幅広い領域でお客さまの発展を支えていく企業グループにふさわしい形に改めました。

連結業績ハイライト

	2020年5月期 (第2四半期累計) (前年同期比)	2020年5月期 (予想) (前期比)
売上高	10,554 百万円 (8.9%増)	19,100 百万円 (4.6%増)
営業利益	1,415 百万円 (10.2%増)	1,900 百万円 (6.7%増)
経常利益	1,451 百万円 (6.9%増)	1,900 百万円 (0.3%減)
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	939 百万円 (3.0%増)	1,300 百万円 (5.1%増)

配当

	2019年 5月期	2020年 5月期
中間配当	25.0 円	27.0 円
期末配当	25.0 円	27.0 円 (予想)
配当性向	45.2 %	46.4 % (予想)

社会の発展に事業を通じて貢献するという根幹の姿勢を受け継いだものですが、グループ全体でこの不変の価値観を共有することで、グループの総合力を高めます。

「新・中期経営計画2020」最終年度 計画達成に向けた取り組み

さて、3か年にわたる「新・中期経営計画2020」は、いよいよ最終年度となりました。

第83期（2020年5月期）第2四半期までは、すでに公表のとおり、コンサルティング、翻訳サービスといった多様化する顧客ニーズへのソリューションを提供した結果、増収増益となり計画達成に向けて順調に進捗しています。

ディスクロージャー&IR分野における今後の変化を展望すると、開示書類の記載内容が多様化・充実化していくと同時に、働き方改革や株主総会プロセスの電子化などによる開示プロセスの一層の効率化、早期化が進んでいくものと思われます。このような環境変化を背景に、企業の情報開示へのニーズも一層多様化してい

くことが見込まれます。グループの総合力をもってこのような顧客課題を解決し、「新・中期経営計画2020」の達成による成果を足掛かりとして、次期中期経営計画、さらにそれ以降の成長を目指してまいります。

また、これからは持株会社体制のもと、積極的な成長投資を進めていく方針ですが、株主の皆様への長期的利益還元と安定配当につきましては重要課題として取り組んでまいります。なお、当期の配当につきましては中間配当27円、期末配当27円（予想）の年間54円を予定しております。

持株会社体制への移行により、これまで以上にお客様から必要とされる事業領域の拡大にチャレンジし、すべてのステークホルダーの皆様とともに発展していきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、当社の今後にご期待をいただき、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年1月

TAKARA & COグループ マネジメントメッセージ

当社グループは、お客様のニーズに応え続けるため、新たな価値の創出を行うべく事業領域の拡大を進めています。ここではディスクロージャー&IRの枠を超え、事業領域の拡大を支えるグループ会社をご紹介します。



宝印刷株式会社
代表取締役社長

堆 誠一郎

グループの中核企業として新たな価値を創造

宝印刷はディスクロージャーとIR分野におけるリーディングカンパニーです。TAKARA & COグループの中核を担う会社として、長年培った知識・ノウハウを軸に、さらに専門性を磨き、サービス分野を拡げ、お客様の企業価値拡大に貢献することで、幅広いステークホルダーの皆様との強固なリレーションを大切にし、共に新たな価値を創造すべく努めてまいります。

TAKARA & COMPANY ウェブサイトのご紹介

持株会社体制への移行に伴い、ウェブサイトをリニューアルいたしました。詳細な事業内容やIR情報など、当社グループのことを理解していただくためのコンテンツを掲載しています。タイムリーに情報を発信してまいりますので、ぜひご覧ください。

ウェブサイトに掲載されている統合報告書では、TAKARA & COグループ各社のマネジメントインタビューを掲載しています。

TAKARA & COMPANY

検索

<https://www.takara-company.co.jp/>





株式会社タスク
代表取締役社長
竹山 徹弥

ネットワークを活用し、 成長機会の拡大を目指します

タスクは現在、IPO（新規株式公開）支援を中心に、内部統制構築支援、M&A支援などを展開しているコンサルティング会社です。タスクが持つネットワークを活用し、そこから生まれる成果を各社の事業にフィードバックすることで、グループとしての成長機会の拡大につなげていきます。



株式会社スリー・シー・コンサルティング
代表取締役社長
児玉 厚

企業の羅針盤作りに貢献していきます

日本初の法定開示書類自動作成システムである「決算報告エクスプレス」、現在は宝印刷が販売する「X-Smart. Advance/Basic」を開発し、さらに開示の管理会計化の流れを先取りした特許取得製品「予算会計エクスプレス」を開発、販売しています。

引き続き、企業の経営企画管理部門の視点でシステム開発、サポートをしてまいります。



株式会社イーツー
代表取締役社長
瀬谷 義浩

制作・開発の両方に強みを持つ ハイブリッド型企业へ

会社設立以来、企業や大学などのWEBサイト制作やシステム構築を幅広く手掛け、2017年に宝印刷の子会社となったからはWEB版招集通知「ネットで招集」などの共同開発も行ってきました。今後はグループが持つ顧客基盤をより有効に活用し、受託制作・自社開発商品の両方を併せ持ったハイブリッド型の企業として、成長を目指します。



株式会社十印
取締役社長
日下部 優

世界で信頼される企業グループへ

創業以来50年以上、企業様のコミュニケーション/ドキュメントに関わってまいりました。ビジネスのグローバル化に伴い翻訳の需要は増え続けており、近年は海外企業との取引が増加しています。また、総務省が進める機械翻訳プロジェクトに協力、機械翻訳を広めるため2019年7月よりAI翻訳サービス「T-tact AN-ZIN」をリリース。半世紀にわたる経験、グローバルネットワーク、また最先端のテクノロジーをグループ全体で共有し、世界に信頼される企業グループへと発展します。

■ 単元未満株式の買増および買取制度のご案内

当社の株式は単元株式数(売買単位)を100株としておりますので、100株に満たない株式(単元未満株式)は市場では売買することができません。

単元未満株式は当社に対して買増請求(買い増して1単元(100株)にする)および買取請求(売却する)することができます。

単元未満株式の買増請求 市場で購入できない単元未満の株式を売り渡すよう当社に請求することができます。

単元未満株式の買取請求 市場で売却できない単元未満の株式を買い取るよう当社に請求することができます。

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

55株をご所有の場合(イメージ)



ご報告 社会貢献活動団体への寄付

株主優待で「社会貢献活動団体への寄付」を選択された株主様48名分の寄付金額と当社からの加算分と合わせ、今年度の寄付金総額は200,000円となり、「がんばろう！千葉 千葉県災害義援金」へ寄付いたしました。

昨年9月から10月にかけての台風、大雨により東日本各地で被害が発生し、特に甚大な被害があった千葉県の災害復興、義援金支援をすることといたしました。

寄付へのご協力ありがとうございました。

会社概要 (2019年12月2日現在)

社名	株式会社 TAKARA & COMPANY (旧商号：宝印刷株式会社)
設立	1960年4月15日(創業 1952年)
資本金	2,049百万円
本社所在地	東京都豊島区高田三丁目28番8号
従業員数	845名(連結)(2019年11月30日現在)

株主メモ

事業年度	6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	8月
配当の基準日	期末配当 5月31日 中間配当 11月30日
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
公告方法	電子公告により当社ホームページ (https://www.takara-company.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

株主優待制度 ▶ 当社は「選べるギフト」を採用しています。「選べるギフト」とは、当社が当社のお客様に提案しているデパート提携型の株主優待サービスです。

対象株主様

5月末の最終株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主様